

IBM i アプリケーションの高度な分析と管理で、機能性の向上を確実にサポート

X-Analysis Advisor

IBM i ユーザー企業の情報システム部を 近代化・DX化するソリューション



AS/400から進化したIBM i はオープンシステムです。
次世代を担うエンジニアにIBM i アプリケーションを継承させるには、標準的でオープンな開発・運用方法を提供する必要があります。

X-Analysisは、開発・運用における作業の大半を占める調査作業に革新的な変化をもたらします。



- 可視化と洞察：アプリケーションの構造をチャートやフロー図で表現し、理解の促進と時間の短縮を実現
- 影響分析：変更が及ぼす影響を正確に特定、調査効率向上を実現
- 診断と棚卸：アプリケーションの問題点を特定し、保守や工数見積もりに役立つ
- シンプルライセンス：IBM iのサーバー筐体のみで利用可能で、追加のPCサーバーやDB、クラウド契約は不要
- 対話形式の利用：日々の調査作業を対話形式で行い、業務の効率化を図れる
- 導入事例：多数の企業がX-Analysisを導入し、システムの近代化や技術継承に成功している

その他（ご利用環境など）

- iOS V7R1以上でava Toolboxが稼働しているIBM iへ接続しEclipse / RDi の Plug inとしてご利用できます。
- 各OSバージョンにてPTFの適用が必要となる場合があります

株式会社GxPは、X-Analysis製品の日本総代理店です。



株式会社GxP

〒163-0548 東京都新宿区西新宿1-26-2新宿野村ビル48階

<https://x-analysis.jp/>

X-Analysis Advisor の特徴

解析対象の幅広さ

S/36から最新OSのリソースまで世代を問わず、オブジェクトとソースコードの双方を解析する。

解析機能の豊富さ

オブジェクトレベルからソースコードの一行レベルまで解析できる機能群を要し、品質管理や棚卸まで網羅されている。

解析作業の手軽さ

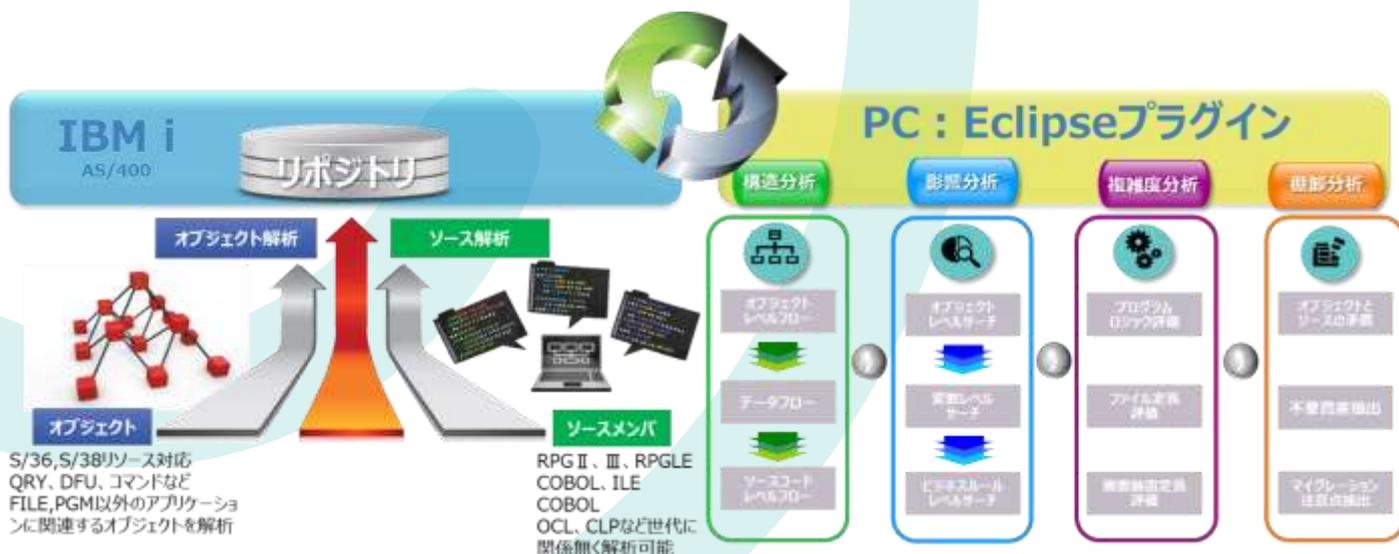
オープン系のエンジニアでも、抵抗なく利用が出来るインターフェースで、機能操作を行える。

将来的な安心

5000社以上の既存顧客に支えられた研究開発により、製品機能の継続的な強化が行われ、IBM iの新しい技術や使い方への対応、ユーザーニーズによる機能追加などがスムーズに行われる。

IBM iの歴史と共に歩んできた
X-AnalysisはIBM iユーザーのベストツールです。

解析対象と機能



36/38モードからフリーフォーマットまで世代を超えて対応

ソースコード

- RPGソースファイル (II, III, ILE, FFRPG, SQLRPG)
- COBOLソースファイル (CBLLE可)
- CL, CLPソースファイル
- DDSソースファイル
- FMTソースファイル
- APWソースファイル
- OCLソースファイル
- CMDソースファイル
- コピーソースファイル

ソースを持たないオブジェクトも解析対象となり漏れがない

全てのアプリケーションリソースを解析

- *BNDDIR バインド・ディレクトリー
- *CMD コマンド
- *DTAARA データ域
- *DTAQ データ待ち行列
- *FILE ファイル
- *JOBDD ジョブ記述
- *MENU メニュー
- *MODULE モジュール
- *MSGF メッセージ・ファイル
- *PGM プログラム
- *PNLGRP パネル・グループ
- *QRYDFN QUERY定義
- *SRVPGM サービス・プログラム
- *USRSPC ユーザー・スペース

オブジェクト

自動解析

リポジトリ